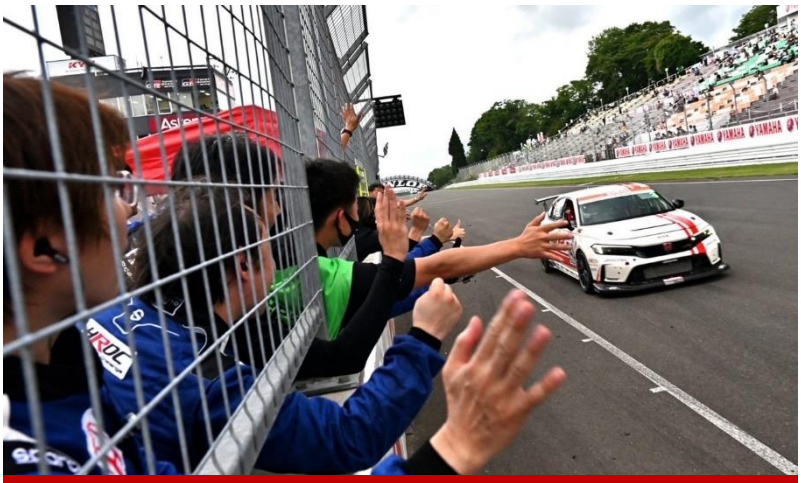
2023 年 7 月 14 日

スーパー耐久シリーズ第 3 戦　スポーツランド SUGO



3 時間フォーマットの SUGO 戦で　クラス 3 位表彰台を獲得

7 月 8 日(土)～9 日(日)、スポーツランド SUGO（宮城県）にて ENEOS スーパー耐久シリーズ 2023 Supported by BRIDGESTONE 第 3 戦 が開催され、ST-2 クラスとしては 2023 年シーズンで唯一となる 3 時間フォーマットのレースに挑み、新型 CIVIC TYPE R (FL5)でデビュー4 戦連続の表彰台となるクラス 3 位で完走を果たした。

QUALIFY / 予選

10 時からのフリー走行はウェット路面であったが、雨は止み急速に路面は乾いていく。チームは車両をドライセットに戻して午後の予選に挑んだ。A ドライバー予選では、石垣選手が練習走行のタイムを大きく上回る 1 分 31 秒 944 でクラス 2 番手。その後、再び雨は降ったり止んだりを繰り返し、B ドライバー予選は少し滑りやすいコンディションでの走行となった。木立選手は徐々に乾いていく路面状況を見極めながら毎周着実に各セクタータイムを更新し、最後のアタックで 1 分 33 秒 257 を記録。A/B ドライバーのタイムを合算した総合順位ではクラス 3 番手となった。

＜予選リザルト＞

Pos.	No.	Car	A Dr. Time	B Dr. Time	Total Time
1	225	KTMS GR YARIS	1’31.497	1’31.100	3’02.597
2	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	1’31.987	1’31,745	3’03.732
3	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**1’31.944**	**1’33.257**	**3’05.201**
4	13	ENDLESS GR YARIS	1’32.777	1’32.430	3’05.207
5	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	1’33.374	1’32.849	3’06.223

RACE / 決勝

木曜日、金曜日とトラブルが続いたものの、メカニックの懸命な復旧作業により、無事決勝グリッドに並ぶことができた。晴れ間が見えたり厚い雲が流れたりする不安定な天気のなか、スタートを務めるのは、B ドライバーの木立選手。路面はドライで全車スリックタイヤでのスタートとなった。第 1 スティントは時折にわか雨が降るものの、安定したドライブで周回を進め 40 ラップを終えたところで、予定通り A ドライバーの石垣選手にスイッチ。車両のコンディションは良好で、クラストップレベルのペースで周回を続けるが、他車のトラブルにより FCY（フルコースイエロー）が導入されその後 SC（セーフティーカー）に切り替わった。この時点で 3 位を走行していたが、まだ A ドライバーの最低走行時間の 60 分を消化できていない為、ステイアウトを選択した。この SC のタイミングで上位 2 台はピットストップに入った為、ST2 クラス TOP となる。さらにピットストップした 2 台との差は 1 LAP に開き、次のピットストップをロスなくこなせば、TOP を KEEP できる可能性も出てきた。

SC が解除された矢先の 71 周目、石垣選手より “S 字でガス欠症状が出た！” との緊急無線が入った。 すかさずピットインを指示し給油に向かう。本来はこのタイミングでドライバー交換を伴うピットインの義務を果たせるのだが、A ドライバーが 60 分以上のルールに対し 2 分足りない為、ドライバー交換をせず給油のみを行うことを判断。残り 20 分を切ったところで、C ドライバーの柿沼選手に交換するために再度ピットインを行いコースに戻った結果、クラス 3 位のポジションでチェッカーを受けることとなった。

<決勝リザルト>

Pos.	No.	Car	Laps	Total Time	Gap
1	6	新菱オート DIXCEL 夢住まい館エボ 10	108	3:01'47.515	
2	13	ENDLESS GR YARIS	108	3:01'53.889	6,374
3	**743**	**Honda R&D Challenge FL5**	**107**	**3:01'36.296**	**1 Laps**
4	7	新菱オート DIXCEL エボ 10	98	3:02'11.226	10 Laps
5	225	KTMS GR YARIS	91	3:01'24.737	17 Laps

ドライバーコメント

A ドライバー 石垣博基

2 年ぶりの SUGO での走行でしたが、レースウィークの走り出しからトラブルに見舞われて車両セッティングやタイヤ・燃費などのデータ取りが十分にできませんでした。それでも、これまでの経験を活かし、また HRC との情報交換も行いながら、チームは予選までに戦闘力の高い車に仕上げてくれました。

前戦の富士では予選を走れず、ブリヂストンタイヤでの予選アタックは今回初めてでしたが、グリップもコントロール性も高かったです。タイムも想定より良く、45kg のウエイトを積んでいてもライバル勢と戦えるという感触が得られました。

決勝では我々の戦略とレース展開がうまく合わず、また走行データも少ない中で効率の良いピット戦略を実行することは出来ませんでした。結果的に最大乗車時間の規定いっぱいまで走ることになり、2 スティント連続での走行となりました。体力面での不足を感じましたので、今後に向けてはどんな戦略にも対応できるようにフィジカルもさらに鍛えていきたいと思います。

非常に蒸し暑くタフなコンディションの中、レースを戦うために万全の準備をしてくれたチームメンバーに感謝すると共に、チームを応援いただいたすべての皆様に御礼申し上げます。

B ドライバー 木立純一

車両トラブルにより予選日のフリー走行(WET)より慣熟走行を開始しました。慣熟走行では、操作マネジメント確認とウエットラインの習熟を中心に走行し午後の予選に備えましたが、予選は小雨により若干路面が濡れた不安定な状況での走行となりました。習熟をしつつ徐々にペースを上げていきましたが、A ドライバー予選順位 2 位を守ることができず予選 3 位となりました。

決勝はスタートドライバー担当し 40 ラップを走行。予選順位をキープして石垣選手に繋ぎました。レースウィーク中度重なるトラブルに対し最後まで諦めず対応し、ロングスティントでも安心して乗れるクルマを準備してくれたチームメンバー、不安定な天候にも関わらず応援に来て頂いた皆さまに感謝致します。

C ドライバー 柿沼秀樹

レースウィーク初日からの車両トラブル明け、ようやく走り出せた金曜フリー走行で他車と接触を喫してしまい、またしても走行時間を失ってしまいました。そんな中でもメカニックが必死の修復で予選までに車を間に合わせてくれると共に、エンジニアも少ない走行フィードバックの中からセットアップを最適化してくれたお陰で、予選時には FL5 デビュー以来一番バランスの高い状態に仕上げてくれました。

決勝は第 2 スティントを担当した石垣選手の素晴らしい走りで 1 位を走行していましたが、戦略と SC タイミングの兼ね合いから私は残り 20 分を切ったタイミングでアンカーを務め、車をしっかりゴールまで運ぶ走りとなりました。

今回の大会では様々なトラブルが起こりましたが、それに動じずしっかりと車とドライバーをコースに送り出してくれたチームメンバーへの感謝と共に、ご協賛様ならびに温かく応援下さったすべての皆様に御礼申し上げます。

チーム監督コメント

前戦の 24 時間を戦った車両に対して、エンジン交換やミッション交換、破損個所の修復を、メンバーが平日夜や週末を使って丁寧に実施して SUGO 戦に挑みました。去年は SUGO のレースがなかったことからチームとして 2 年ぶりのサーキットで少ないデータの中、セッティングや戦略についてもミーティングを重ね準備を進めてきました。そんな中 木曜日に走り出すと過給がかからないエンジントラブルが発生、何度も疑わしい箇所のつぶし込みとチェック走行を重ねるも原因が特定できず、最終的にエンジン交換の判断。夜遅くまで、さらに朝早くからの作業で金曜日の午前のフリー走行に挑むも症状が変わらず。最後にインタークーラー周りの部品交換実施し午後のフリー走行でトラブルが解消し、やっとレーシングスピードでの走行を開始。少ない時間でデータ取りセッティング出しを進める中、今度は他車との接触があり FR サスペンションにダメージを負ってしまい、メカニックたちの苦労が続く状態で疲労が蓄積していきました。それでも、メンバーはあきらめず協力しあい、会社にいるバックアップメンバーにも協力をしてもらい、連日の早朝作業を重ね、何とか予選に修理を間に合わせることができました。

全員の頑張りに報いるかのように、予選では快調な走りで A ドライバーは 2 番手タイムを出すなど 45kg のハンデを感じさせないパフォーマンスを発揮できました。決勝は FCY/SC のタイミングを逃し順位を落とすこととなりましたが、3 位表彰台が悔しいといえるところまでチームが成長してきていると強く感じました。

チーム全体を見ると、各領域でそれぞれがやらなくてはならないことを理解し行動ができていること、またトラブル時には相互補完が自然とできていることなど、参戦毎に個人とチームの成長が感じられ、メンバーが頼もしく誇らしく思えたレースとなりました。

ご声援、ご協力いただいた方々心より感謝申し上げます。

チーム代表コメント

振り返れば昨年の最終戦から 4 戦連続の表彰台獲得となりました。今シーズンのランキングも現時点で 2 位を維持しておりますが、この成績は今まで多くの失敗や経験をしてきた成果だと思います。今回のレースでも多くの経験をしました。レースウィーク初日からエンジントラブルに見舞われスペアエンジンに交換するも不具合は改善されず、フリー走行 2 日目の午後にようやく原因解析が終わり走行可能となりましたが、セッション中に他車と接触。フロントサスペンションにダメージをうけて足回りを交換となりました。メカニックの懸命な作業により、無事予選を迎え決勝では 3 位表彰台に上がることが出来ました。前回の富士 24 時間でも想定外のトラブルを乗り越えチーム全員の成長を実感しましたが、今回の SUGO でも多くのトラブルを経験しチームメンバーの力がさらに増したと思います。レースはヒトと技術を鍛えると言われますが改めてそれを実感致しました。この経験を活かし更に強いチームづくりを目指して参ります。

関係各位におかれましては、今回も多くの方にご支援、ご協力を頂きありがとうございました。次戦オートポリスよりシーズン後半戦に入りますが、FL5 のポテンシャルを最大限発揮できるようにチーム一丸となってチャレンジしチャンピオン争いの中心で戦っていきたいと思います。引き続きご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

次戦は、7 月 29 日(土)～30 日(日) オートポリス（大分県）にて開催されます。
引き続きご声援をよろしくお願いします

＜問い合わせ先＞ ※メールでお願い致します。

チーム代表　　木立 純一　Junichi_Kidachi@jp.honda
望月 哲明　Tetsumei_Mochizuki@jp.honda